

2011

永福南
キリスト教会
クリスマス



生きる力がここにあり！

やみに輝く光

JECA (日本福音キリスト教会連合)

会場 永福南キリスト教会

12/23 (金)
午後5時～

DVD「マリア」上映 <先着100名様 入場無料>
映画と讃美の集い～キリスト誕生の奇蹟に迫る～



©2011 NEW LINE PRODUCTIONS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

12/24 (土)
午後5時～

ともしびと音楽の夕べ <先着100名様 入場無料>
イブ礼拝 (キャンドルサービス)



12/25 (日)
午前10時30分～

本当のクリスマスがここにあり！
クリスマス礼拝



<http://eifuku-minami.jp>

今すぐアクセス

2011

永福南 キリスト教会 クリスマス

やみに輝光

光はやみに輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。(ヨハネの福音書1章5節)

「輝いていた」(過去)でも、「輝いていく」(未来)でもありません。「輝いている」(現在)です。ずっと輝いて、輝き続けている光です。消えない光。沈まない光です。どんなにやみが深くても、長くても、もっと深くを照らし、もっと長く照らし続ける光です。

今年3月11日の東日本大震災は、多くの尊い人命を奪いました。被災者の方々は今なお不慣れた生活を余儀なくされ、喪失の悲しみと痛みに苦しんでおられます。教会でも微力ながら、直後の支援金や支援物資の送付、支援者の派遣や応援にも励みました。また支援の継続の必要を覚え、毎月11日に近い第2日曜の礼拝で支援献金をささげています。

しかし、被災地の復興までの道のりは長期化しています。厳しい経済下に寒い冬を迎える方々の不安と心細さを思い、胸が痛みます。物質的、経済的にできることの限界を覚えます。大自然の脅威の前に無力さを痛感します。科学の粋を集めて努力した結果の人間の愚かさ。

震災によるやみは思いのほか深く、長いようです。しかしそれでも、もっと深くを照らし、もっと長くを照らす光はあるのです。

都内のあるキリスト教のキャンプ場は、福島からの原発による被災者を長期で受け入れました。すると、これまでになかったことが起こりました。被災者の子どもたちと町内の小学生がキャンプ場で遊ぶようになりました。そして、町の方々と対話と協力が一層深まりました。震災の暗やみを照らす光のように私には思われました。

また、あるキリスト教の新聞にこんな記事が載りました。被災地の子どもたちのために、世界中から献金が寄せられました。ケニアのナイロビで市橋隆雄・さら宣教師夫妻が活動しているスラムの子どもたちからも。その日に唯一口にするのできるバナナをがまんし、5円、10円……と自分たちで貯めながら、何と6万円をささげてくれました。自分たちの食を断っても、家や親を失った被災地の子どもたちにささげられた隣人愛。

イエス・キリストによるやみに輝く光！消えない光！沈まない光！クリスマスの光！！

竹内 豪 (永福南キリスト教会牧師)

ドンキーズのクリスマス (子供のクリスマス)

12/17 (土) 午後4時～

中学・高校生

12/18 (日) 午後2時30分～

幼児・小学生



お問い合わせ・会場

JECA (日本福音キリスト教会連合)

永福南キリスト教会

杉並区浜田山1-2-19 電話03-5317-8210

<http://eifuku-minami.jp/>

牧師 竹内 豪



(井の頭線 / 西永福駅から徒歩5分)